

尖閣諸島を巡る 米中の覇権争いと日本

14年 4月 15日

福山 隆

「海国日本」は離島のお陰

- 日本の領海(12海里(約22.2km))と排他的経済水域(200海里(約370km))の総面積447万km²・・・世界6位、領土(38万km²、世界61位)の約12倍
- 日本が「海洋国家」として存在するのは6847の離島があつてこそ
- 尖閣諸島は「離島の一つ」・・・残り6846の離島も重要

講師は五島宇久島（離島）出身

- ・ 野口有情：波浮の港

「島で暮らすにや**乏しゅうてならぬ**」

- － 電気：小学5年生の時
- － 汽車：小学6年の修学旅行・停車状態
- － 革靴：防大入校時・・・古い運動靴は破棄
- － 病院：叔母は出産時海自飛行艇のお世話

- ・ **島独自歴史伝統⇒村落毎に祭り、教会**

故郷を奪い取られた島民の悲哀

・ **エシミアの哀歌（旧約聖書、2600年前、抜粋）**

☆ 幼い子供たちは捕えられ、**奴隸**として遠くへ連れ去られていく。幼い子供や、生まれたばかりの**赤ん坊**が、**路上**で**息も絶え絶え**になっているのです。

☆ 「何か食べたいよーっ！」と訴え、**乳の出ない母**の胸に顔を埋めます。小さな命は、戦場で傷ついた兵士のように**消えていきます**。

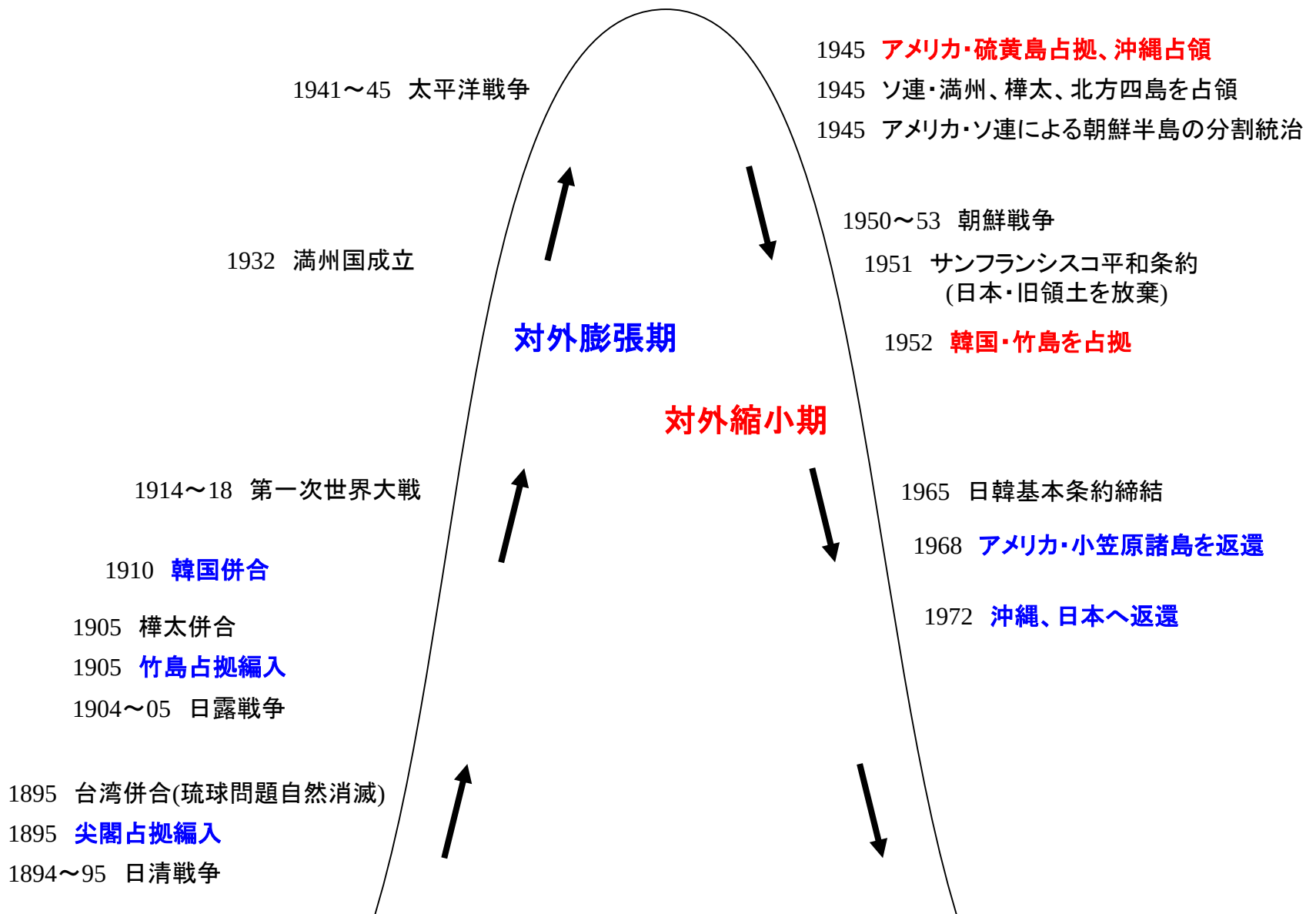
・ **北方領土島民達の証言**

☆ 「元島民が語る『北方領土』」・・・北方領土問題対策協会のホームページに掲載

☆ 条約違反で、終戦後侵攻・・・**辛酸を舐めた島民**・・・**沖縄のメディア**はどう見るか

日本は新たな国境画定期

1945.9.2 日本敗戦



離島が直面する諸問題（１）

離島振興法の欠陥

⇒ 国防と言う配慮ゼロ

- ① 明治時代の鉄道建設黎明期、海岸沿いよりも**内陸を経由する鉄道の建設を優先（艦砲射撃）**
- ② 同法は**国防と言う配慮「ゼロ」**
- ③ 同法は**有人島のみ適用**

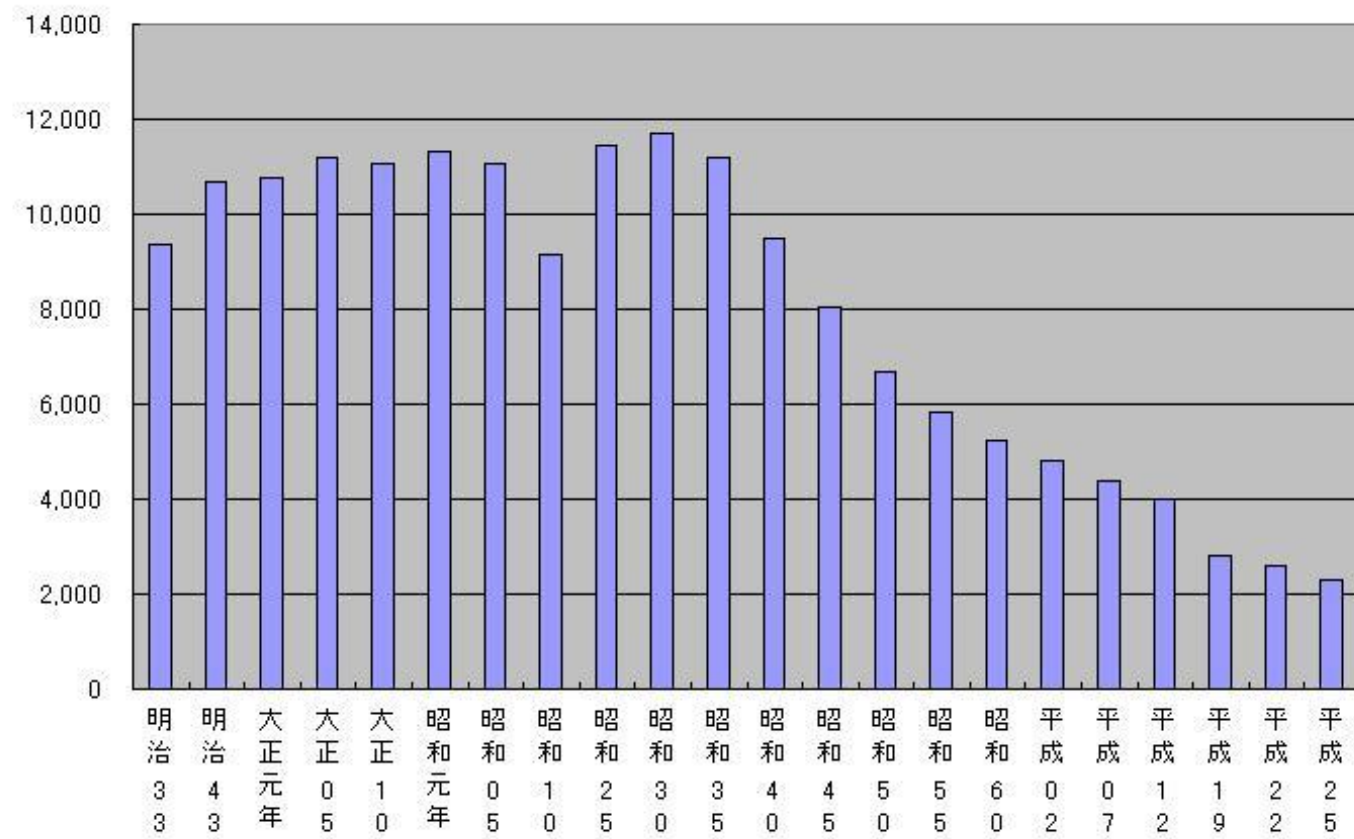
離島が直面する諸問題（2）

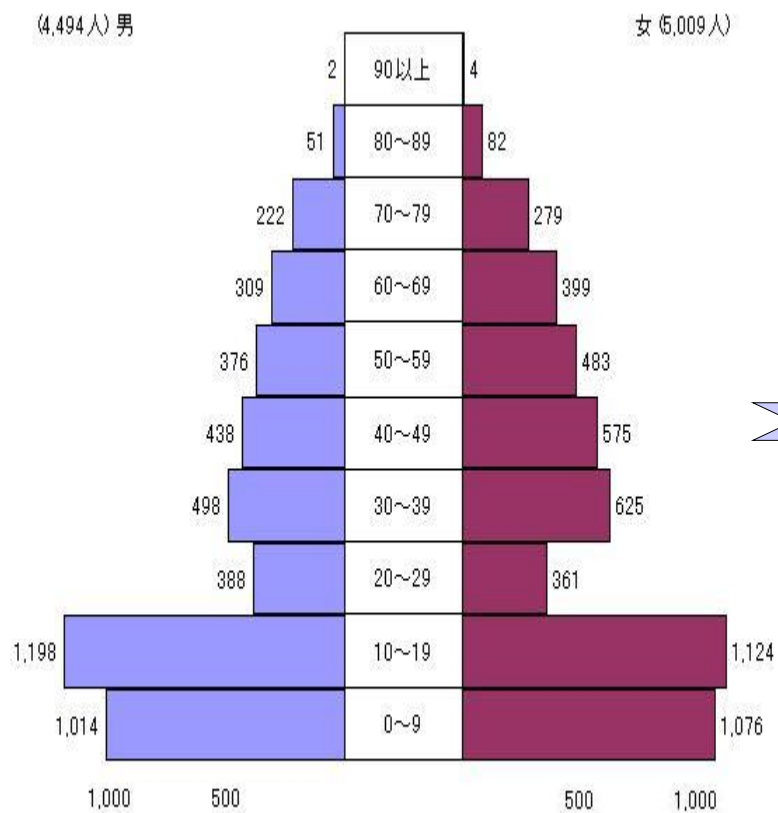
離島人口の激減

- ・ 1965年に比べ、2010年には**5割以上も減少**
- ・ **宇久島（講師の故郷）の事例**

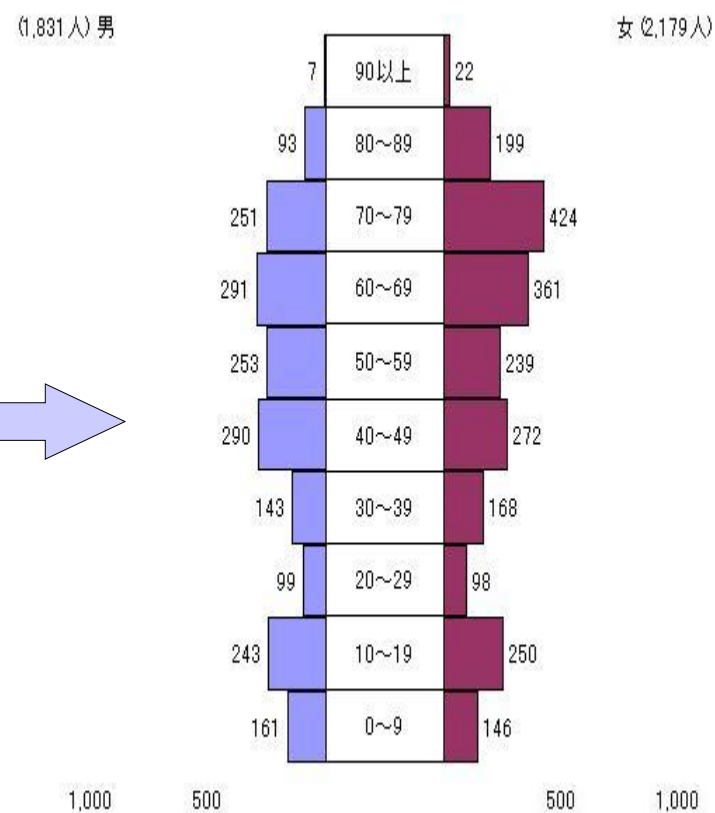
宇久島の人口推移

(人口)





1965年頃



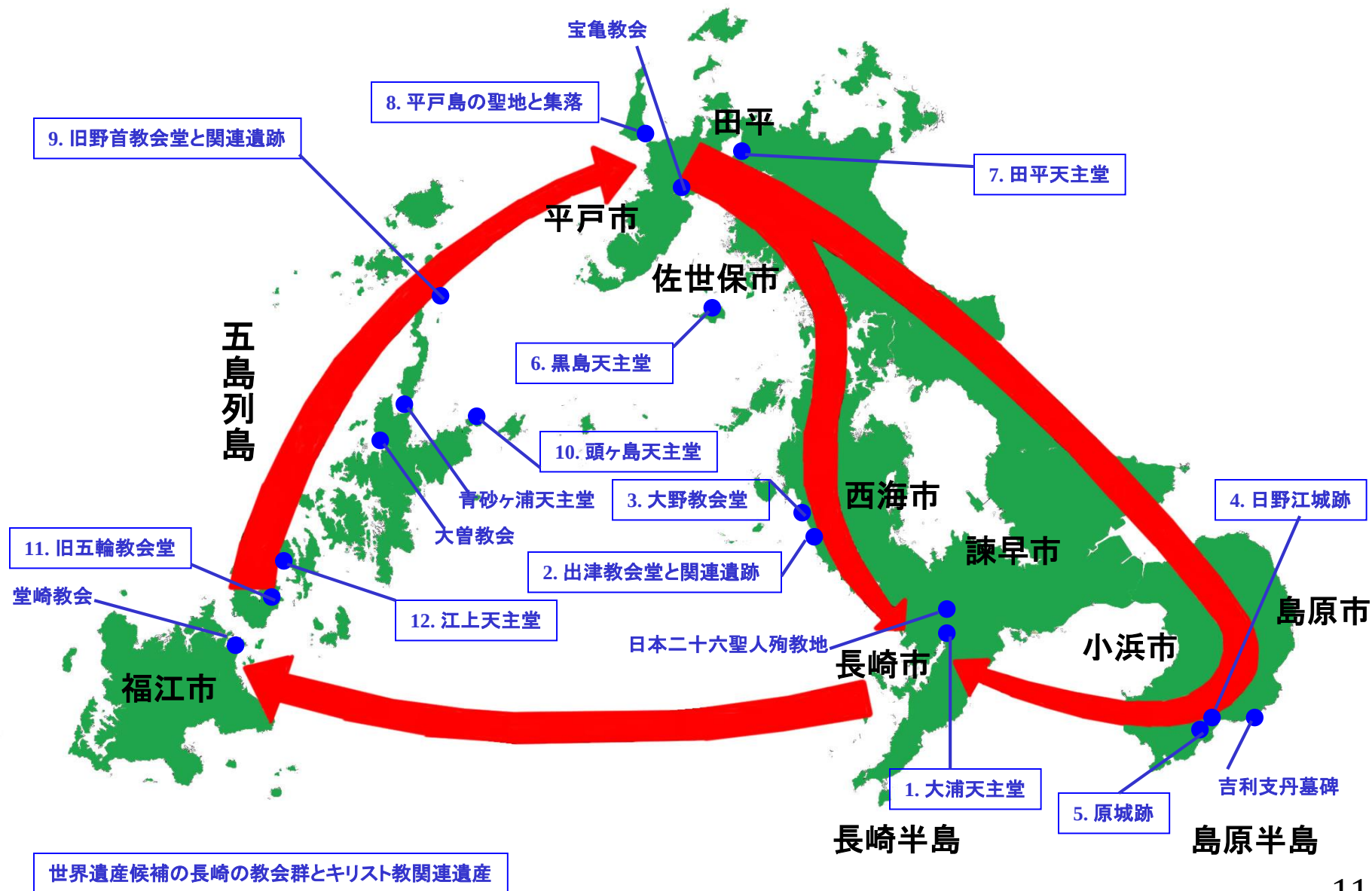
2000年頃

離島に関わる喫緊の課題

- 無人島阻止作戦・殖民作戦の実施
- 生活基盤の整備、一例：長崎五島キリスト教巡礼の旅…次図
- 離島の国有化

領海の範囲を決める基準点となる離島のうち、無人で所有者がない可能性があるおおよそ280について、国有化に向けた作業を急ぐ（山本大臣、1月7日付NHK）

長崎・五島キリスト教会巡礼構想



離島領有問題の特殊性

- 領土ナショナリズムの**魔力**
冷静・合理的な思考を奪う…**狂気化**
- 領土ナショナリズムは**制御不能**
…**エスカレート**
餅を投げれば**餅**が返り、**石**を投げれば**石**が返る
- 中国・韓国は、政権維持のため**国民の内政不満を転嫁**する手段…韓国大統領にとって**レームダックの特効薬**

日本の領土問題の特殊性

- 日中(尖閣諸島問題)、日露(北方領土問題)の二国間問題だけではなく、**米中覇権争い、米ロ覇権争い**という側面
- 米国の「**ティヴァイド・アンド・ルール**」戦略・・・第二次世界大戦の処理の際に仕込まれた**米国の陰謀・・・アメリカは高笑い？**

尖閣諸島問題の本質

- **中国**にとって

尖閣問題は、**米中覇権争い**の重要な「**天王山**」。第一列島線を支配し、東シナ海を**内海化**するための最初の「一手」。

- **米国**にとって

中国封じ込めの象徴的な要点一失えば究極的には「不沈空母」を失う(**日米離間**)他、**米国の信頼・権威が失墜**

世界情勢激変の原因

米国の凋落

と

中国の台頭

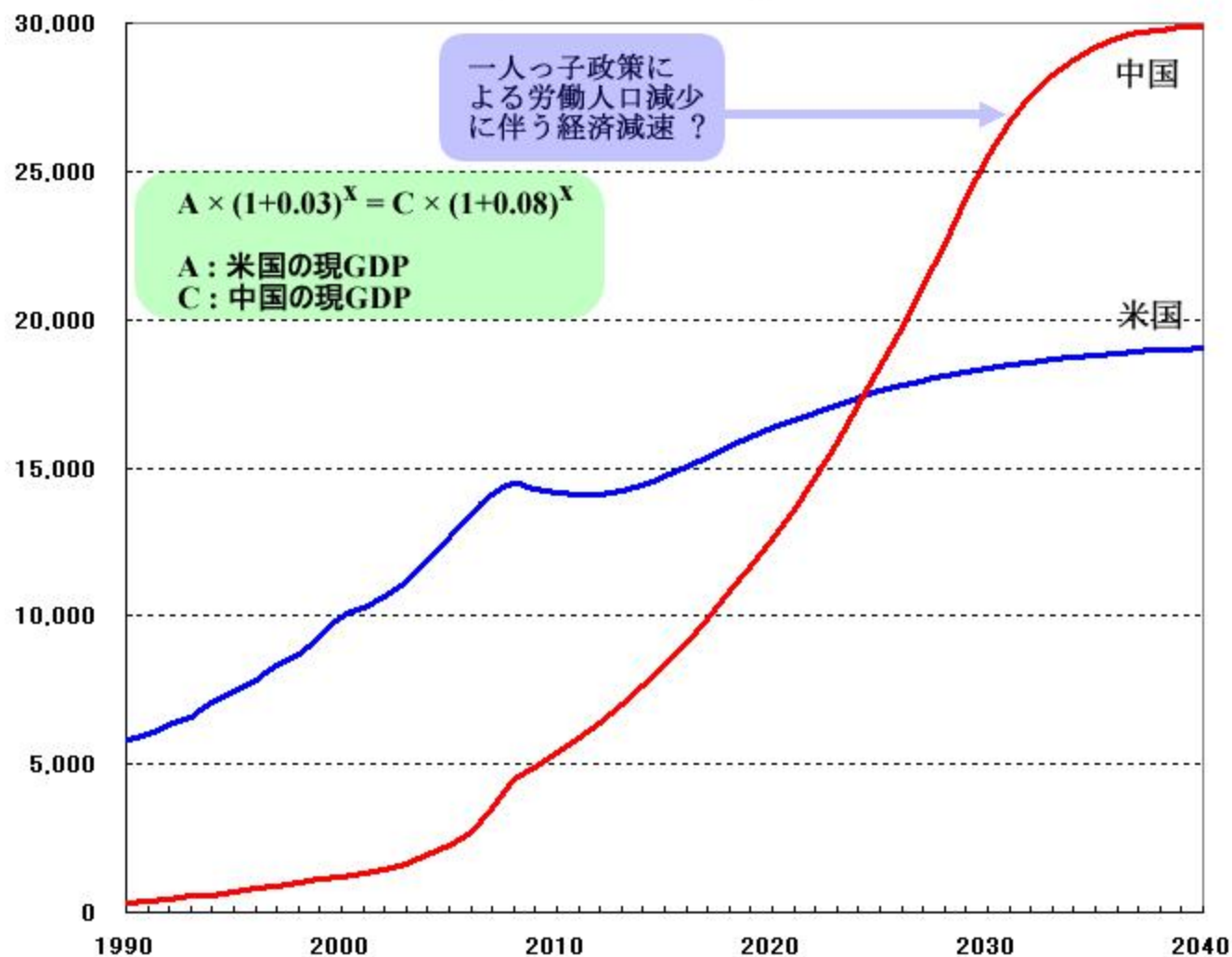
米中盛衰の行方

パワーの源泉は経済力

- IMFは2016年に米中GDP 逆転予測
- OECD も2016年に米中GDP 逆転予測
- チャイナリスク
 - ① 中国の共産主義体制の限界—国営企業
 - ② 貧富の格差の拡大「ジニ係数」0. 61 (2010)
 - ③ 少子・高齢化の急速な進行
 - ④ 研究開発に不熱心—「偽物造り」や「窃盗」
 - ⑤ ライバル—BRICSとVISTA—の台頭

米中のGDPの推移

(10億ドル)



資料源：IMF - World Economic Outlook (2009年10月版) 及び 内閣府推計 を元に作成

中国の**軍事拡張**

- 2014年度国防予算は前年度比12.2% 増
円換算約12兆9,317億円＝日本の約2.7倍
- **二桁増を20年**以上継続
- 空母ワリヤーグ試験航行、J-20ステルス戦闘機、対艦弾道ミサイル開発
- 鄧小平・**韜光養晦**戦略（「中国は国力の無いうちは、国際社会で目立った行動をせずに、じっくり力を蓄えておこう」という戦略）
- 中国は「**「強気」の戦略**」に転換

米軍の潤落 (2014QDR)

- 10年間で約110兆円歳出カット、うち約46兆円の国防費削減
- 陸軍兵力8万人削減 (44~45万体制)
- 空母ジョージワシントン退役の可能性も
(11⇒10隻体制)
- オバマ大統領：米国は世界の警察官ではない

米国の世界支配の終焉

- ・ 北朝鮮核ミサイル開発阻止
- ・ シリアの化学兵器使用への制裁
- ・ クリミア問題への対処

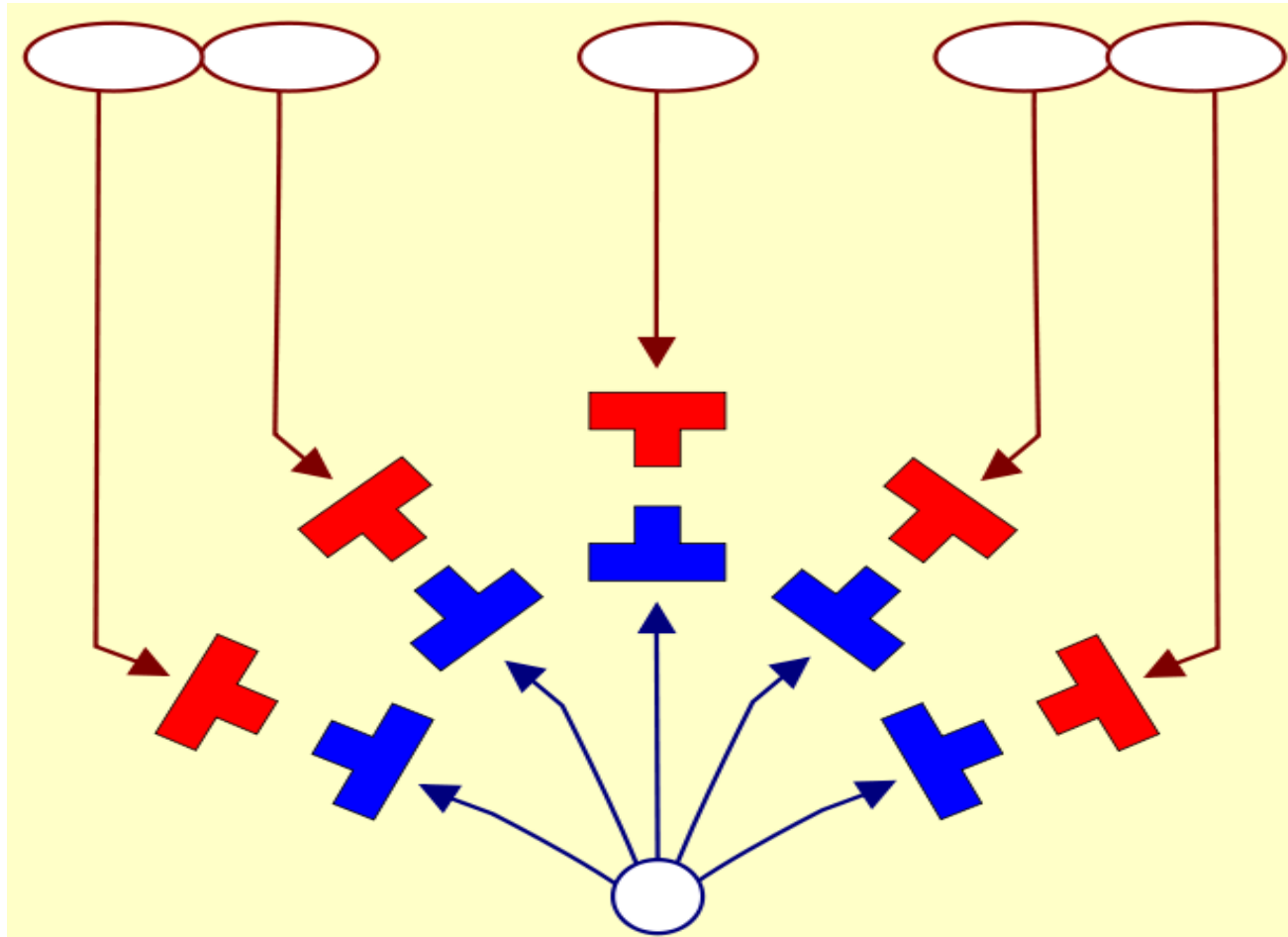
米軍削減で米国が取りうる四つ選択肢

- **第一案**: 世界覇権を放棄し、戦力削減に見合う守備範囲に**戦線・戦域を縮小**
- **第二案**: 前方展開兵力をグアムハワイ以東に**撤退**、北東アジアは**日本や韓国に委ね**、米国睨みを利かせ、**“高見の見物”**
- **第三案**: 同盟国の**役割分担増**、戦線・戦域を**現状維持**
- **第四案**: 米中で妥協し、お互いに認め合う領域を**共同管理**

米軍と中国軍の根本的な違い

- 米軍は「**外征型**」の軍で、中国軍は「**共産党専属の国土防衛軍**」
- 中国軍は「**防勢作戦ー接近阻止・領域拒否戦略**」を、米軍は「**攻勢作戦ーエア・シーバトル**」を実施
- 米軍は**外線作戦**を、中国人民解放軍は**内戦作戦**を実施

内戦作戦と外線作戦



接近阻止・領域拒否戦略

対艦攻撃弾道ミサイルの概念図



エア・シー・バトル構想

- 目的：中国の「**接近阻止・領域拒否**」戦略に対抗、西太平洋での中国軍の殲滅と封じ込め
- 内容：西太平洋における**米軍の軍事作戦行動を中国軍の妨げなしに、自由に行うことを可能**にするための兵器・システムの開発、その配備及び兵員訓練等
- 具体要領：①**C4ISRネットワークの分断**、②接近阻止・領域拒否の脅威そのものあるいは**兵器システムを破壊**、③中国が持つ**兵器あるいは部隊の撃破**

米国にとっての日本の戦略的価値

- パクス・アメリカーナを支える「**キー・ストーン（要石）**」
- 「**不沈空母**」—アジア太平洋地域・中東に米軍兵力を投射するプラットフォーム
- 中国の太平洋進出を封じ込める「**防波堤**」
- 第一・第二列島線の「**扇の要**」に当たり、米中にとって軍事戦略上の要点
- 米中制限戦争時の **“戦場”**

日本外交・安全保障戦略の選択肢

- 第一案：現状の**日米同盟の維持**
- 第二案：米国と日米安保条約を破棄し、新たに**中国と連携**
- 第三案：米国とも中国とも距離を置き、核武装も含む自主武装により、**完全な中立**を志向

幕末期に類似した**日本国論の分裂**

- ・ **幕末**

対外(外交)的には「**開国と攘夷**」、内政的には「**尊王倒幕と佐幕**」一組合せ**4通り**

最終的には「**開国・尊王倒幕**」に収束

- ・ **現在——米ソの対日工作の成果**

対外(外交)的には「**親米(安保堅持)・反米(一部親中)・独立(離米)**」と内政的には「**護憲(反武装)・改憲(自主装)**」一組合せ**6通り**・・・**如何に収束すべきか**

当面の生き残り策

米国から切り捨てられないための方策

- **日本の自助努力**による国防・防衛力の拡充こそが米国のアジア太平洋離れを阻止——英国（チャーチル）に学べ
- 今こそ、**自衛隊が日米同盟強化の“切り札（財産）”**
- **基地問題解決**の努力
- 米軍の**エアシーバトル構想を最大支援**できる日本の防衛面での体制作り
- **日米連合軍司令部創設**の検討と**日米共同作戦計画**の策定（米韓安保関係がモデル）

クリミア問題の本質

- ロシア・フーチンの戦略⇒一途な領土拡張
- 米国の世界支配の終焉
 - 北朝鮮核ミサイル開発阻止
 - シリアの化学兵器使用への制裁
 - クリミア問題への対処

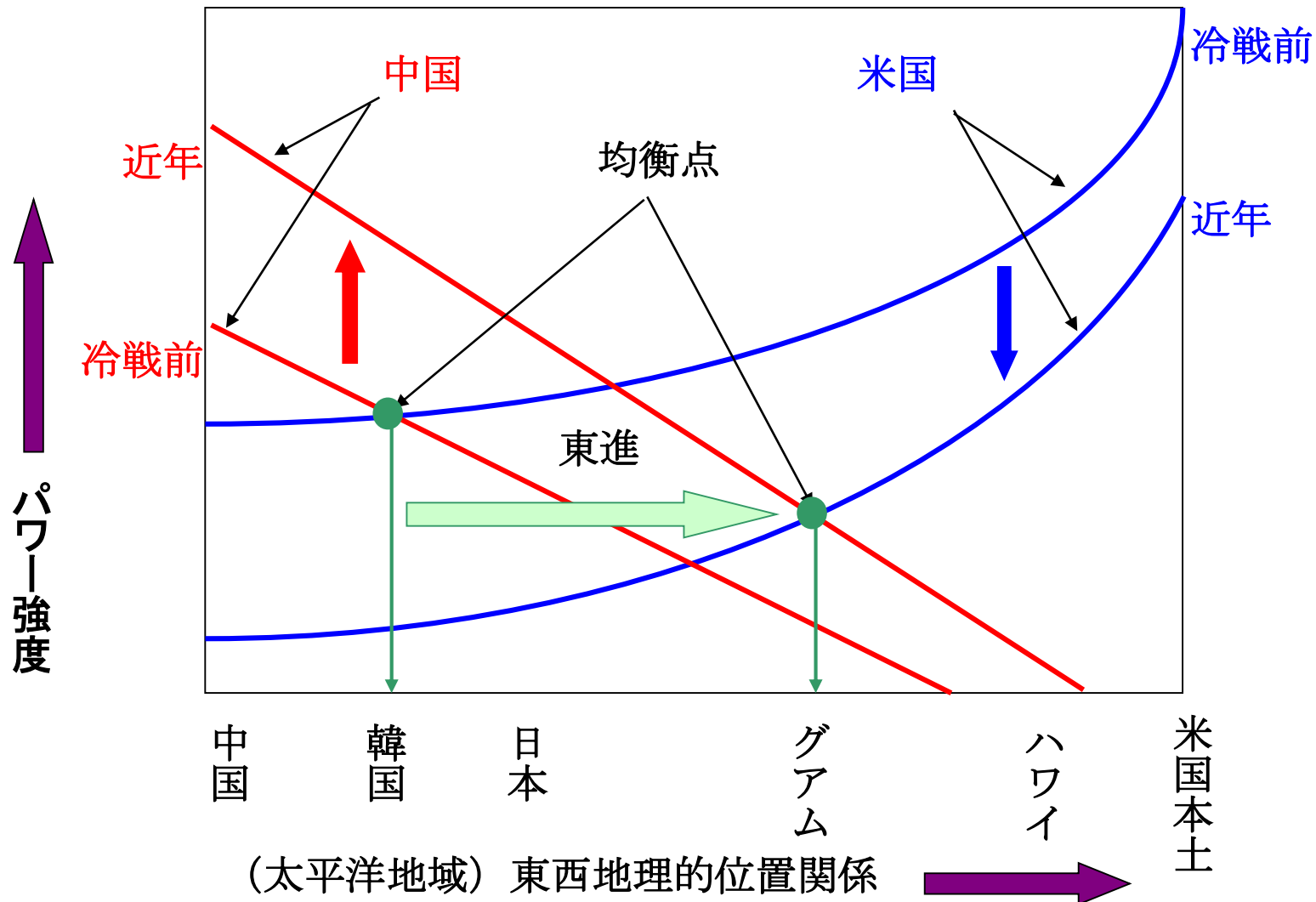
世界情勢激変の原因

米国の凋落

と

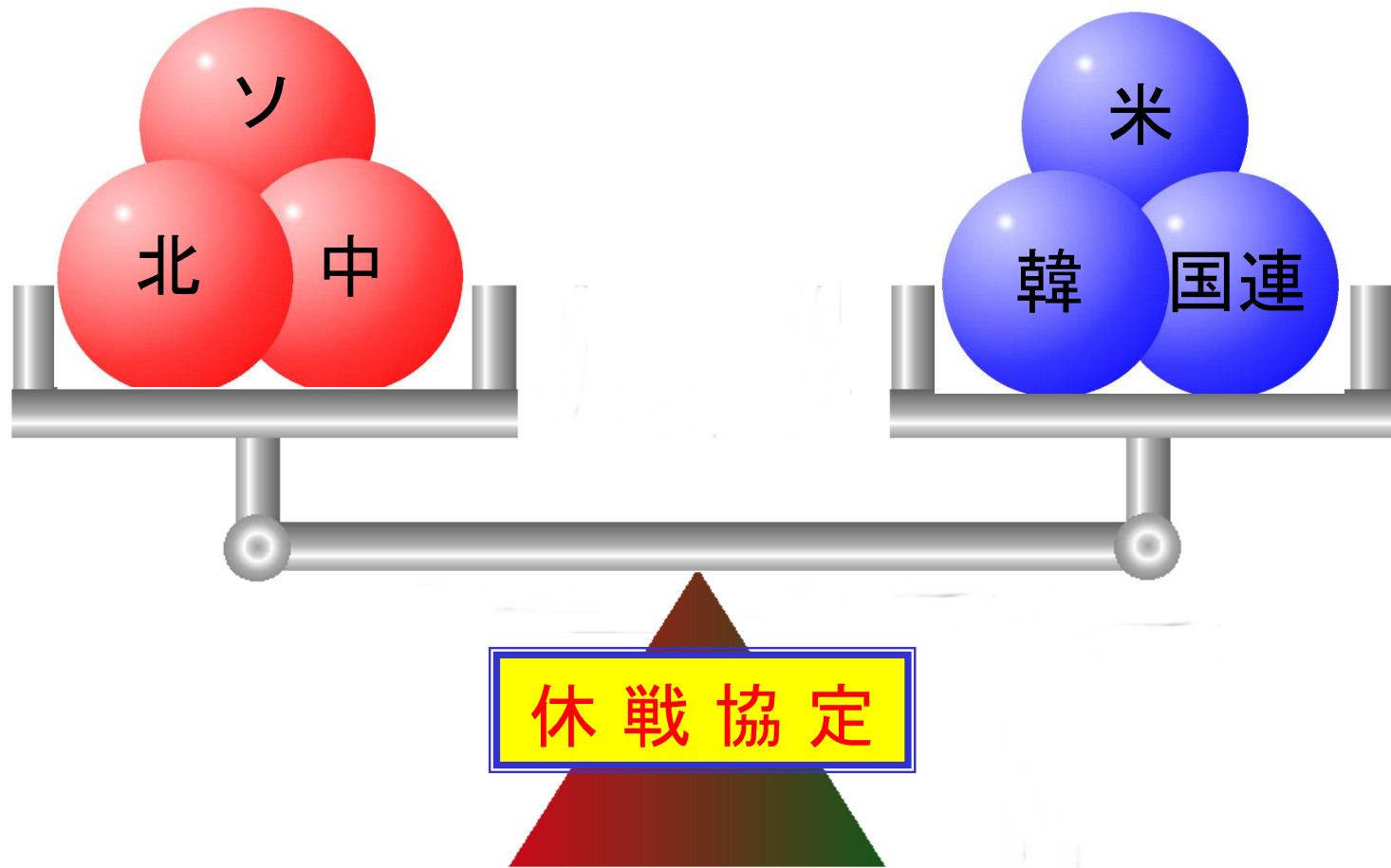
中国の台頭

米中パワーバランスの東進イメージ

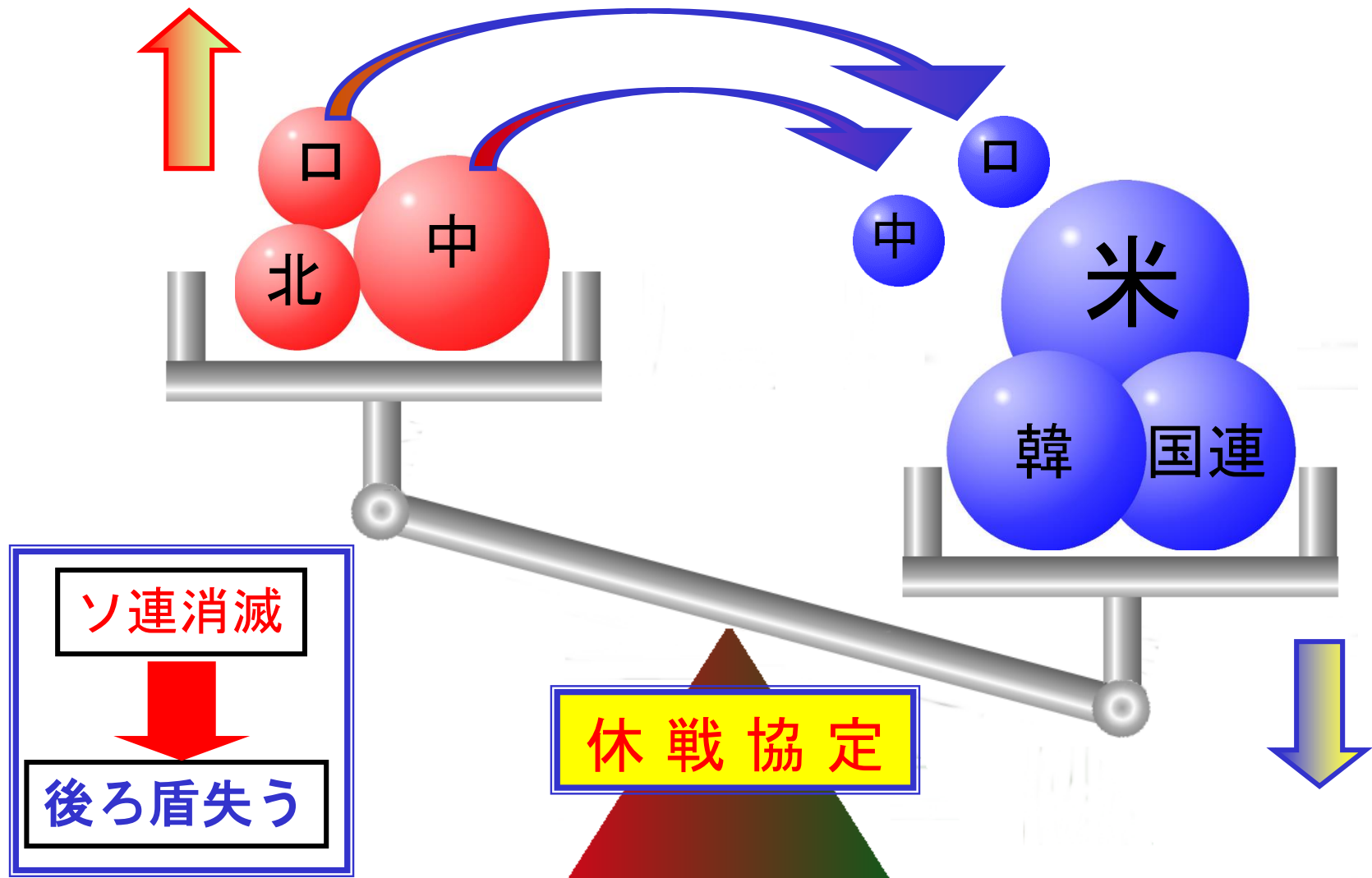


南北の軍事バランス (冷戦まで)

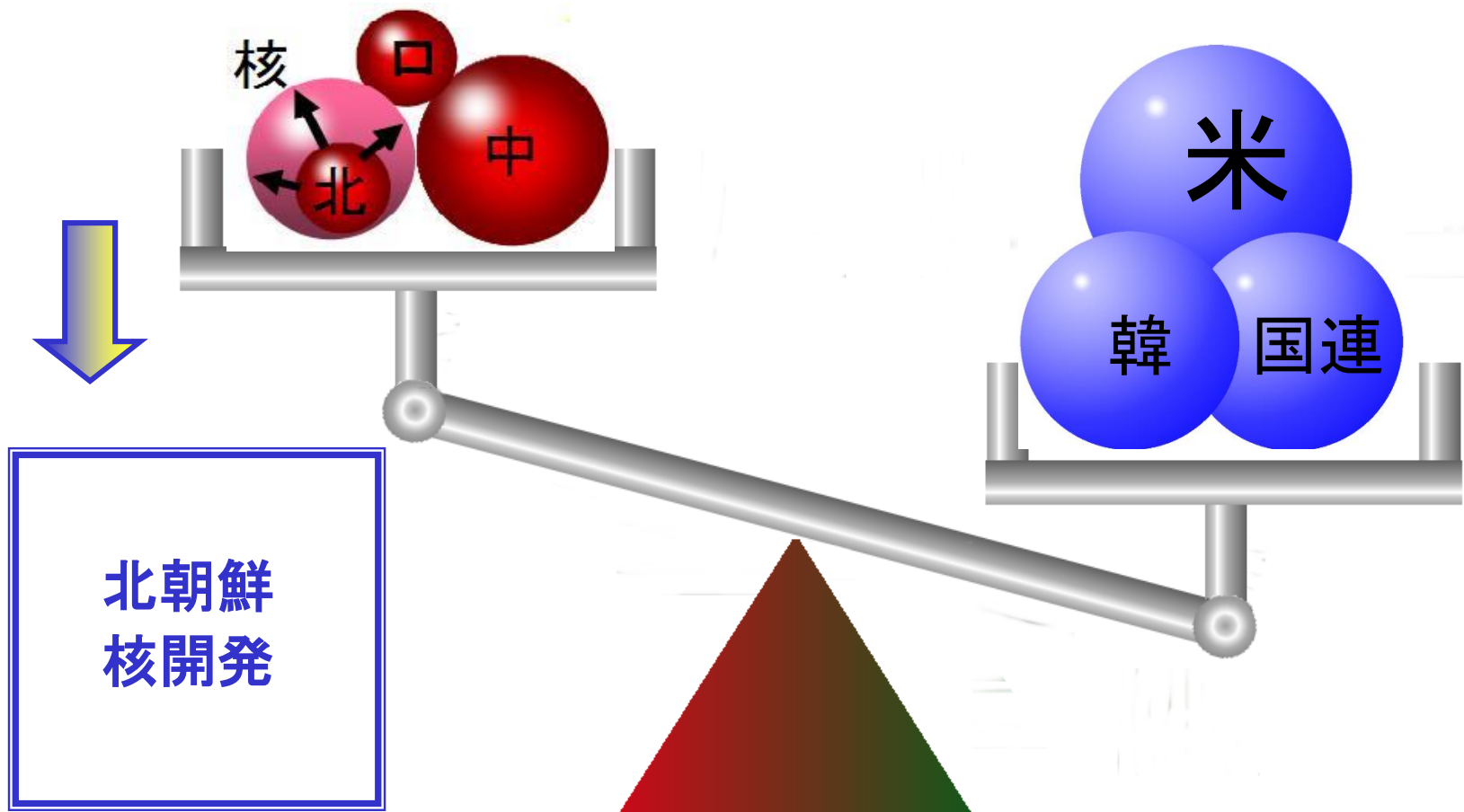
中・ソの後ろ盾



南北の軍事バランス (冷戦後)

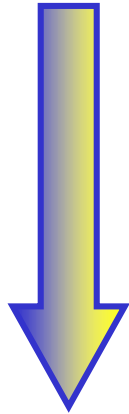


南北の軍事バランス (北朝鮮の挽回期)

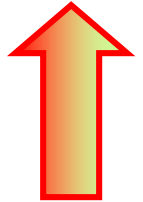
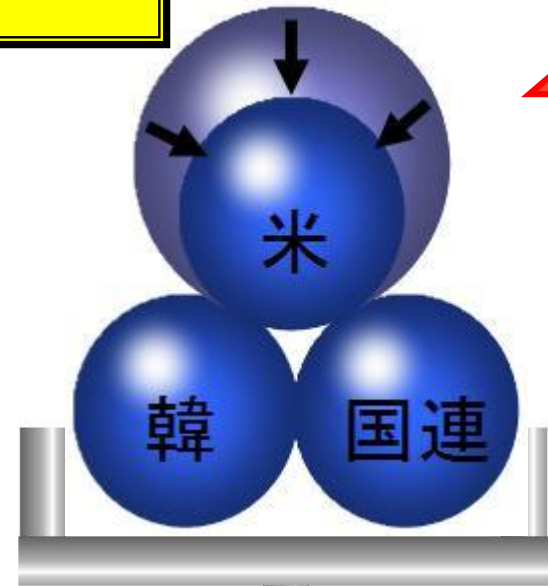
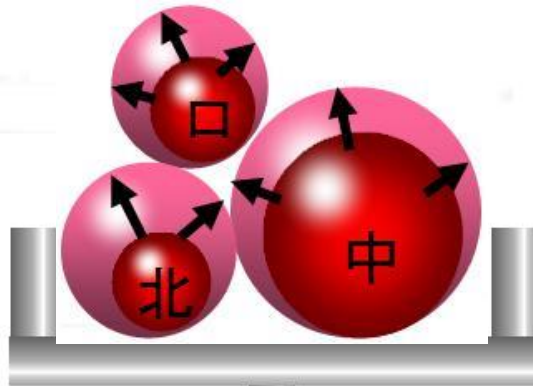


南北の軍事バランス (現在)

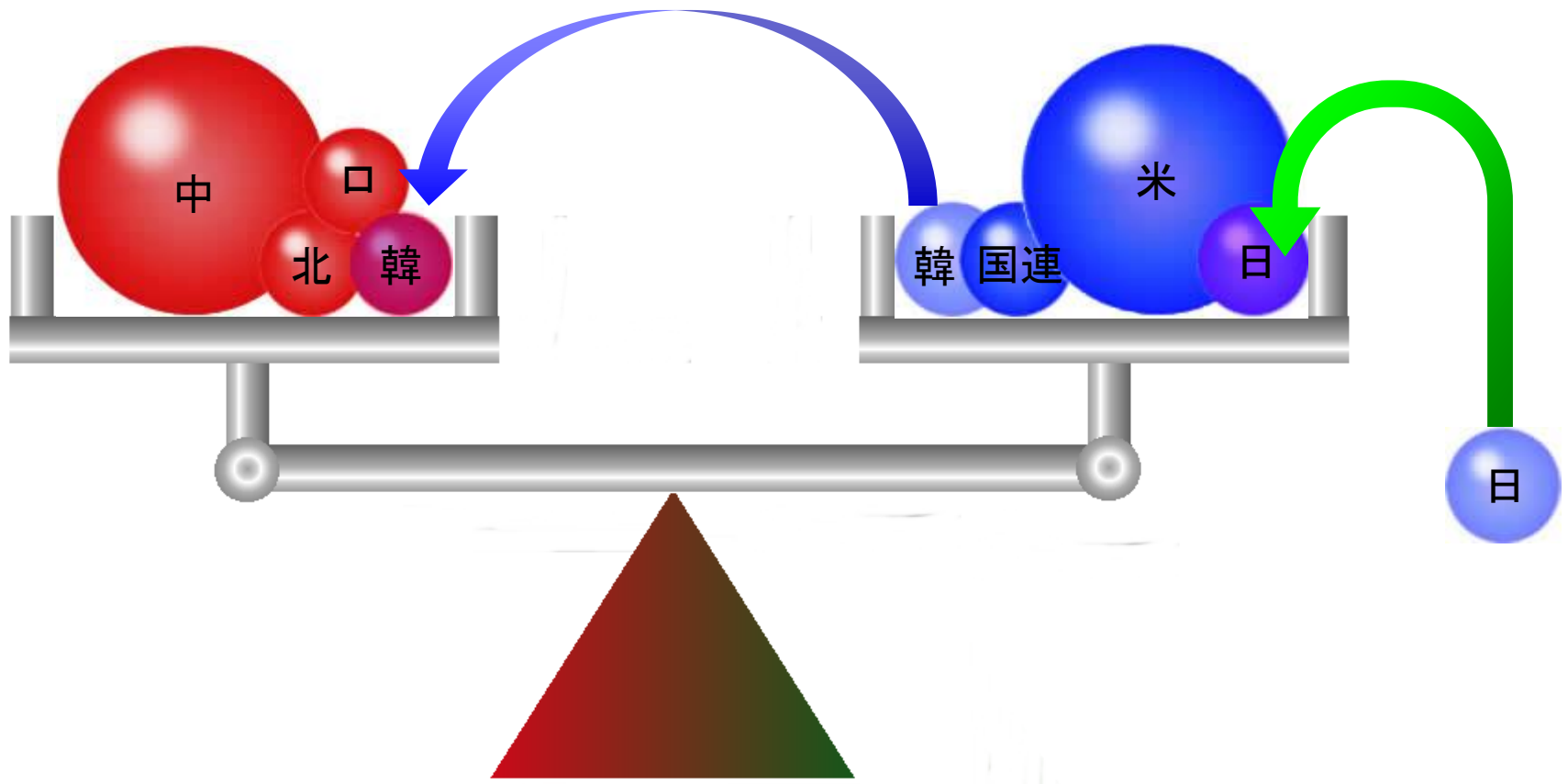
中国の台頭
米国の凋落
ロシアの復興



哨戒艇撃沈
ヨンビョン島砲撃

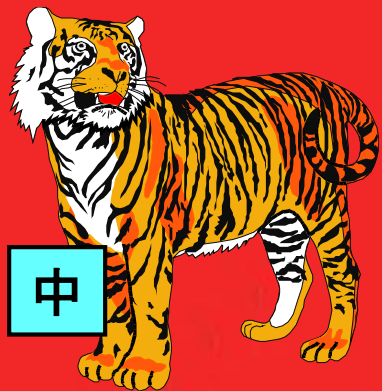


新たな軍事バランス (今後)



露

金正恩と朴槿惠の苦悩



中

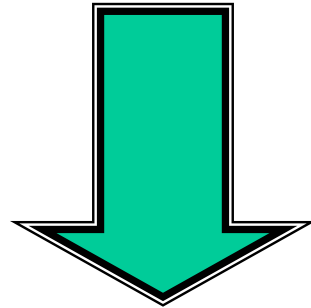
北鮮

韓国

米・日



「中国台頭・米国の涸落」 の流れが続けば



- ① 朝鮮半島は**中国の支配下**に
- ② 日本の**国防第一線**は
毫岐・対馬と五島列島

日本に対する脅威⇒3正面



ま と め

- **有史以来最大の国難**に向き合っていることを自覚すべきだ。このような国難を、悲嘆しているよりも、「**狂瀾(きょうらん)を既倒(きとう)に廻(めぐ)らす**」くらいの気概を持って、**①中国からの国家防衛と、②米国の戦後支配からの脱却**の両方を達成しなければならない。
- 自主防衛体制構築のためには、**脱脂粉乳並に「配給された憲法」** **下戦後レジーム**を受け入れてきた**日本の国論を「回天」する必要**がある。尖閣諸島に押し寄せる**中国の公船を“平成の黒船”**と捉え、国論を「回天」する必要。
- 「**生氣（日本本来の精神的なエネルギー）**」の回復を。アメリカから刷り込まれた**東京裁判史観**（日本人の自立・自尊の精神をスポイル）や**国防の他力本願志向**、ソ連から刷り込まれた**左翼思想・非武装中立**などを早急に克服する必要。